



水害発生に備えて水防訓練を実施！

～救助犬も活躍！！平成26年度練馬区総合水防訓練～

と き 5月11日(日)午前10時から正午まで

ところ 練馬区立びくに公園多目的広場(練馬区東大泉2-28-31)

11日、練馬区立びくに公園で、『平成26年度練馬区総合水防訓練』を実施し、区民や防災関係機関など約900人の方が参加した。

訓練の想定は「局地的な集中豪雨の影響により、石神井川が増水し、道路冠水や住宅、地下室への浸水被害が多数発生した」というもの。

会場では、防災関係機関が連携し、土のう積みなどの浸水防止工法や、浸水箇所を可搬ポンプで排水する訓練をはじめ、消防署の特別救助隊によって浸水した家屋・車両に取り残された人の救助訓練など、実践さながらの訓練が行われた。



【家屋からのロープ救助訓練】

【梅雨・台風シーズンに向けて開催される水防訓練】

練馬区総合水防訓練は、これから迎える梅雨や台風シーズンを前に、水害に対応する水防工法や避難誘導など、災害対応力の向上を図ることを目的に、毎年行なわれている。区と消防署、消防団、警察署などの防災関係機関やライフライン機関(東京電力株、東京ガス株、東京都下水道局)、区内各種団体(日本救助犬協会、練馬土木協会)、事業所、東京消防庁の災害時支援ボランティアなどが参加した。

参加団体は、日ごろからそれぞれの訓練を行っているが、本訓練は各団体の連携を強化し、迅速かつ確実な災害対応を構築するものである。

【当日の様子】

救助犬も活躍！また、実際の車両を切断した救出訓練！

訓練では、土砂により倒壊した家屋、浸水によりドアが開かなくなった車両からの救出訓練を実施。倒壊家屋に人が取り残されていることを救助犬が発見。消防署の特別救助隊が家屋に突入し、無事区民を救出。水没した家屋の屋上に取り残された区民は、ロープを使って救助した。また、土砂に埋没した車両を切断し、閉じ込められた区民を救出。実際の車両を使用した本番さながらの緊迫感のある訓練に、見学している区民からは拍手が沸き起こった。



【救助犬による救出訓練の様子】

演習のほかにも大人から子どもまで参加のできる各コーナーが出演！

当日は、練馬区の訓練では初めてプロアーク(火災時の煙や有毒ガスを拡散させる大型のファンを搭載した車両)を活用し、強風を体験できるコーナーを設けた。

このほか、はしご車の搭乗体験、パトカーや白バイの展示、ミニ防火衣を着用して写真撮影など、大人も子どもも参加できるイベントとなった。

また、練馬区公式アニメキャラクターの「ねり丸」と、消防署のマスコットキャラクターの「キュータ」が顔を合わせ、ともに、風水害への備えについて関心を持ってもらうよう参加者に呼びかけた。

【問い合わせ】危機管理室 防災課 区民防災第二係 電話03-5984-2605